

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゼロエミッション体験会
事業主体 (連絡先)	麻績村観光協会 麻績村 観光課 0263-67-2133
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	598,847円 (うち支援金: 438,000円)

事業内容

ソーラー充電バイクや電動アシスト自転車で村内観光地や史跡を巡りながら、「麻績村の魅力」と「ゼロエミッション」を体験し、村の観光PRとともに次世代エネルギーについて考える機会作り、並びに聖高原で夏休みの思い出作りとして、乾電池で走るライトレースカー(自動運転車)を製作。動力にモーターを使用することでゼロエミッションのPRとともに、高校生を講師に迎え製作指導、世代間交流や学生にとっての学びの支援の場作りを狙った。



【夏休み親子工作教室の様子】

【目標・ねらい】

- ①観光PRによる誘客
- ②官学協働

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①「ゼロエミッション」をテーマに観光PRとして、自然エネルギーを電源にしたバイク、自転車で観光施設等をチェックポイントとしたロゲイニングを実施。観光PRと自然エネルギーを身近に感じるイベントになった。また、村内外からボランティアスタッフが集まり、皆で作上げていくイベントが開催できた。

②親子の物づくりの場と学生の学びの場のイベントになった。併せて、ライトレースカーの電源を乾電池としたことで、小さなお子さんもゼロエミッションの体験ができたと感じている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ソーラーバイク等によるロゲイニングは全国的にも例が無いため、麻績村の観光イベントとして、今回の反省を活かしながら定着していきたい。また、村外者のみならず村内者へ豊かな自然環境を後世に残しながら、イベントの目的を周知し、身近に感じるイベントとしていきたい。

※自己評価【B】

【理由】 イベント開催は出来たものの、参加者数が当初予定数より減少となった。

イベント情報の発信方法を検討する課題が浮き彫りとなった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある